※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資者の皆さまへ
（販売用資料）

「ロボテック」の運用担当者が語る
「ロボット新時代の見通し」

ロボット・テクノロジー関連株ファンド －ロボテック－（為替ヘッジあり）
ロボット・テクノロジー関連株ファンド －ロボテック－
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） －ロボテック（年1回）－（為替ヘッジあり）
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） －ロボテック（年1回）－

追加型投信／内外／株式

「投資信託説明書（交付目論見書）」のご請求・お申込みは…

大和証券
Daiwa Securities

〈販売会社〉

商 号 等　大和証券株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号
加入協会　日本証券業協会
　　一般社団法人日本投資顧問業協会
　　一般社団法人金融先物取引業協会
　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…

大和投資信託
Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商 号 等　大和証券投資信託委託株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
　　一般社団法人日本投資顧問業協会

※当映像のお取扱いについては、必ず最終ページをご参照ください。

（2017年1月作成）

4つのファンドについて

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(マザーファンド)

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド
－ロボテック－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド
－ロボテック－＊

＊当ファンドの略称として「ロボテック」を用いる場合があります。

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

「ロボテック」の3つの特色

1 日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資します。

※株式…DR（預託証券）を含みます。

当ファンドにおける ロボット関連企業とは	ロボット・テクノロジーの開発や製造などにより、ビジネスを展開する企業を指します。

2 株式の運用は、アクサ・インベストメント・マネージャーズが担当します。

〈アクサ・インベストメント・マネージャーズについて〉

- 数多くのテーマ運用で豊富な実績を有するアクサ・インベストメント・マネージャーズは、世界最大級の保険・資産運用グループであるアクサ・グループの資産運用部門です。
- 1994年に設立され、運用資産総額は6,790億ユーロです。（平成28年6月末現在）

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色１.～２.の運用が行なわれないことがあります。

3 毎年3月13日および9月13日（休業日の場合、翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

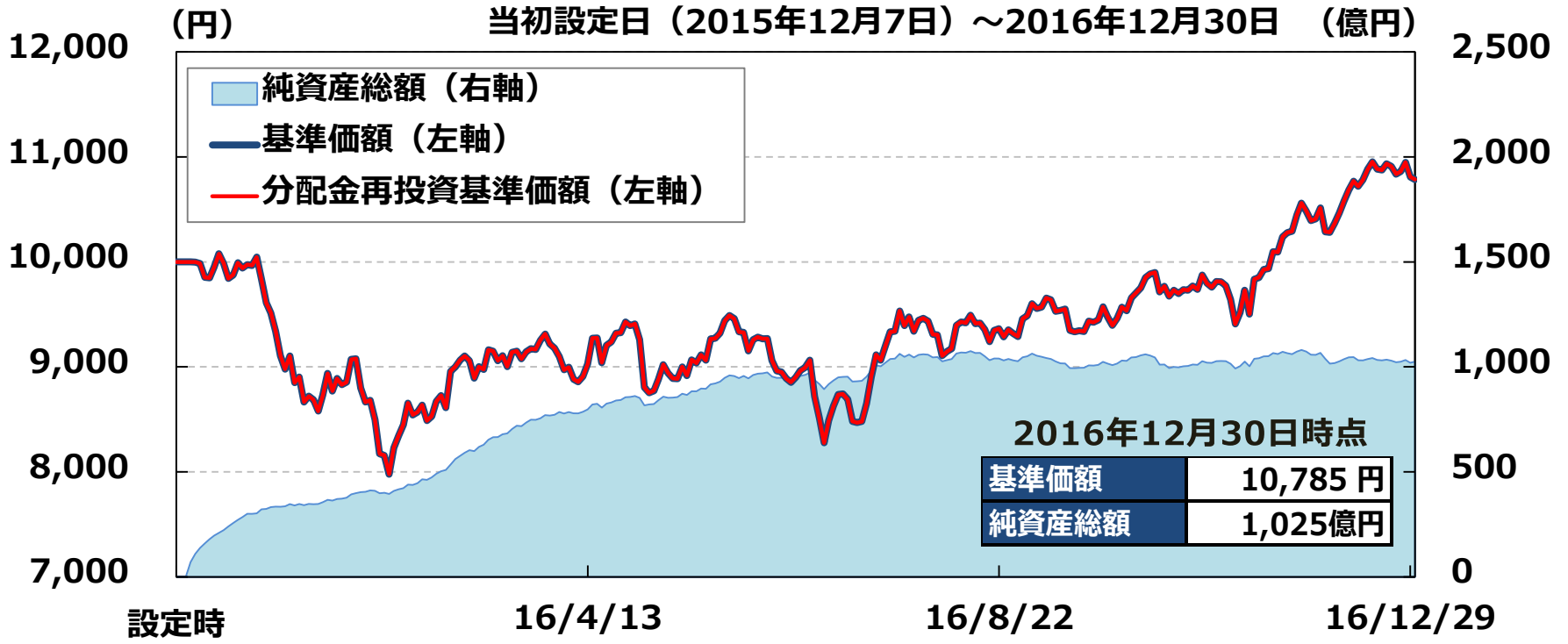
分配方針

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます）等とします。
- ◆ 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
―ロボテック―



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(「ファンドの費用」をご覧ください)。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

投資対象ファンド*の運用状況①

基準日：2016年12月30日

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	比率
外国株式	78.4%
日本株式	18.8%
現金等	2.8%
合計	100.0%

株式 通貨別構成 合計97.2%

通貨名	比率
米ドル	63.3%
日本円	18.8%
ユーロ	13.3%
台湾ドル	1.7%

株式 業種別構成 合計97.2%

業種名	比率
資本財	27.4%
テクノロジー・ハードウェア	20.4%
半導体・半導体製造装置	14.3%
ソフトウェア・サービス	13.2%
ヘルスケア機器・サービス	10.4%
自動車・自動車部品	6.3%
小売	3.0%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.1%

株式 国・地域別構成 合計97.2%

国・地域名	比率
アメリカ	51.9%
日本	18.8%
ドイツ	8.7%
オランダ	8.4%
フランス	2.3%
ジャージー	2.1%
ケイマン諸島	1.9%
台湾	1.7%
イスラエル	0.7%
カナダ	0.5%

＊アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

※アクサ・インベストメント・マネージャーズが提供するデータ等を基に大和投資信託が作成したものです。※上記データは、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日のデータに基づきます。※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。※株式業種別構成は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。※ジャージーは英王室直轄領で、税率が低いなどの税制優遇措置が設けられているため、本社や子会社を登記する企業が多い地域です。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

投資対象ファンド*の運用状況②

基準日：2016年12月30日

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

組入上位10銘柄			合計28.9%
銘柄名	国・地域名	業種名	比率
アルファベット	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9%
アップル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	3.2%
キーエンス	日本	テクノロジー・ハードウェア	3.1%
アマゾン・ドット・コム	アメリカ	小売	3.0%
ファナック	日本	資本財	2.8%
シーメンス	ドイツ	資本財	2.8%
エヌエックスピー・セミコンダクターズ	オランダ	半導体・半導体製造装置	2.7%
コグネックス	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.6%
ＰＴＣ	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5%
シスコシステムズ	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.5%

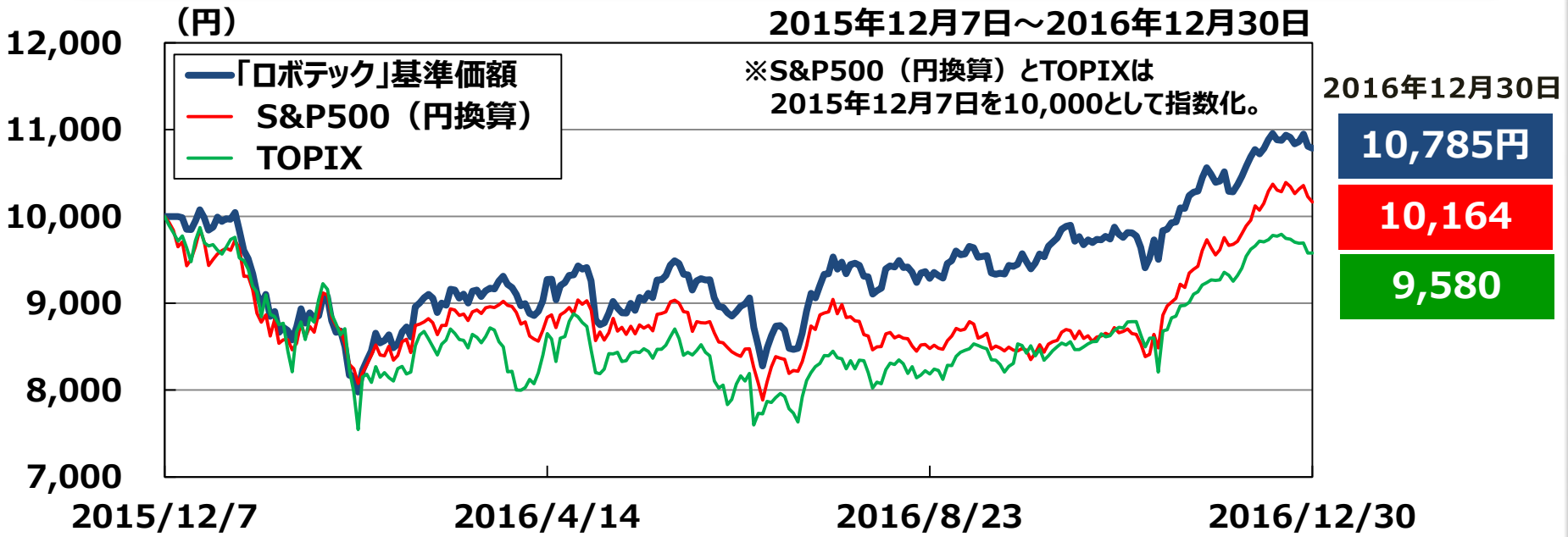
＊アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

※アクサ・インベストメント・マネージャーズが提供するデータ等を基に大和投資信託が作成したものです。※上記データは、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日のデータに基づきます。※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。※組入上位10銘柄の業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

相対的に良好なパフォーマンス

「ロボテック」とS&P500、TOPIXのパフォーマンス比較



※S&P500（円換算）とTOPIXは、当ファンドのベンチマークではありません。
※S&P500の円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
※東証株価指数（TOPIX）は株式会社東京証券取引所が算出・公表などの権利を有する指数です。

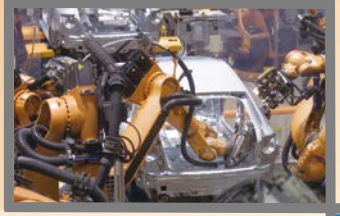
（出所）ブルームバーグ



運用担当者
トム・ライリーが語る

「ロボット新時代の見通し」

ロボット産業と
「ロボテック」の運用について







ロボット産業の現状



2017~2025年

グローバル・ロボット産業

年率10～15%の成長期待



生産性の向上
ビッグデータ、人工知能の活用

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

運用の着目点

引き続き「作る」「運ぶ」「助ける・守る」の3つの分野に注目

①作る

生産工程の
産業用ロボット
など



②運ぶ

電車・自動車の
運転補助 など



③助ける・守る

医療補助、
遠隔操作 など



※上記はイメージ図です。
※上記のテーマは一例であり、上記以外のテーマにも投資する可能性があります。

これらを支える基盤技術
ソフトウェア、半導体、IoT関連企業にも投資

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「作る」「運ぶ」「助ける・守る」の分野に注目する理由



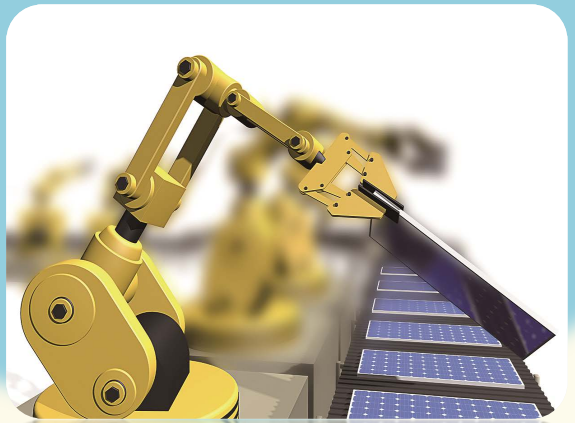




「作る」の注目点

自動車、航空分野などの
産業用ロボット

技術革新により
食品加工、半導体検査などに拡大



当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

「運ぶ」の注目点

自動運転に向けた技術革新
ソフトウェア、半導体需要の
大幅拡大

完全自動運転で
さらに需要増



当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

「助ける・守る」の注目点

ロボット手術分野に注目

技術革新による
ロボット手術適用分野の拡大



当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

銘柄選定と運用方針のポイント

銘柄選定と運用方針のポイント

ポイント1　構造的な成長分野である「ロボット工学」や「自動化分野」における優れた企業に着目

・各分野におけるリーダー企業に投資

ポイント2　長期的な投資アプローチ

・3～5年程度の視点に立って企業分析

・年間の売買回転率は20～30%程度

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

2016年の投資戦略を振り返って

2016年の投資戦略

*2016*年
銘柄選定によって良好なパフォーマンスを実現

良好なリターン

「守る・助ける」の分野

半導体関連企業

一方、
自動車関連分野はさえない展開

今後、自動車の需要環境には楽観視
完全自動運転機能の実現をめざして技術革新が期待される

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

2016年
ロボット産業で特徴的な出来事

2016年のロボット産業で特徴的な出来事

大型M&Aが成立



ドイツ

KUKA（クーカ）

製造機械・機器メーカー

・美的集団(中国)が買収

・買収金額：約4,500億円



英国

アーム・ホールディングス

半導体設計企業

・ソフトバンクグループ(日本)が買収

・買収金額：約3兆3,000億円



オランダ

エヌエックスピー・セミコンダクターズ

半導体大手企業

・クアルコム(米国)が買収

・買収金額：約4兆9,000億円

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年以降に注目するポイントについて

2017年以降のポイント

ロボット革命は引き続き進展

ソフトウェア分野 AI(人工知能)、ビッグデータ分析	さらなる技術革新により 市場は拡大
新興国市場の 人件費上昇	ロボットの活用が 急速に拡大
自動車分野における 新たな革新	自動運転技術の 実現へ

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

4つのファンド

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(マザーファンド)

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
－ロボテック－
(為替ヘッジあり)

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
－ロボテック－

ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

4つのファンド

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(マザーファンド)

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド
－ロボテック－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド
－ロボテック－

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

4つのファンド

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(マザーファンド)

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド
－ロボテック－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド
－ロボテック－

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－
（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー
関連株ファンド（年1回決算型）
－ロボテック（年1回）－

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆･保証するものではありません。

投資リスク・ファンドの費用・お申込みメモ

投資リスク①

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

◆主な変動要因　※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

株価の変動 （価格変動リスク・信用リスク）	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 当ファンドは、特定の業種への投資比率が高くなるため、市場動向にかかわらず基準価額の変動が大きくなる可能性があります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ―ロボテック―（為替ヘッジあり） ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） ―ロボテック（年1回）―（為替ヘッジあり） 為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。 一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行なわないまたは他の通貨で代替した為替取引を行なう場合があるため、為替変動の影響を受けることがあります。 なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。 ロボット・テクノロジー関連株ファンド ―ロボテック― ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） ―ロボテック（年1回）― 外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

投資リスク②

◆主な変動要因　※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行ないます。

ファンドの費用①

お客さまが直接的に負担する費用

※大和証券でお申込みの場合

※当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。（消費税率8%の場合）
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

	料率等	費用の内容
購入時手数料	購入金額に下記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：（申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口）×購入口数	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	―
スイッチング（乗換え）手数料	ありません。＊	―

＊同じ決算型のファンド間でスイッチング（乗換え）を行なうことはできますが、異なる決算型のファンド間でのスイッチングはできません。

購入時手数料率

購入金額	手数料率（税込）
1億円未満	3.24%
1億円以上5億円未満	1.62%
5億円以上10億円未満	1.08%
10億円以上	0.54%

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

ファンドの費用②

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
―ロボテック―（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
―ロボテック―

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

※当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。（消費税率8%の場合）
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率1.215%（税込）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする投資信託証券	年率0.567%（税込）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率1.782%（税込）程度	
その他の費用・手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの費用③

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
（年1回決算型）
―ロボテック（年1回）―（為替ヘッジあり）

ロボット・テクノロジー関連株ファンド
（年1回決算型）
―ロボテック（年1回）―

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

※当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。（消費税率8%の場合）
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率1.215%（税込）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用は、毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合、翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする投資信託証券	年率0.567%（税込）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率1.782%（税込）程度	
その他の費用・手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ①

※大和証券でお申込みの場合

	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ―ロボテック―（為替ヘッジあり）	ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） ―ロボテック（年1回）―（為替ヘッジあり）
購入単位	1,000円以上1円単位*または1,000口以上1口単位 ＊購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、1,000円以上1円単位でご購入いただけます。	
購入・換金価額	購入および換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）	
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。	
申込受付中止日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。	
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）	
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。	
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けた購入の申込みを取消すことがあります。	
スイッチング（乗換え）	同じ決算型のファンド間でスイッチング（乗換え）を行なうことはできますが、異なる決算型のファンド間でのスイッチングはできません。	
信託期間	平成28年9月30日から平成37年9月12日まで ※受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。	

お申込みメモ②

※大和証券でお申込みの場合

	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ―ロボテック―（為替ヘッジあり）	ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） ―ロボテック（年1回）―（為替ヘッジあり）
繰上償還	◎主要投資対象とするアクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ◎次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合　・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき	
決算日	毎年3月13日および9月13日（休業日の場合、翌営業日） （注）第1計算期間は、平成29年3月13日（休業日の場合、翌営業日）までとします。	毎年9月13日（休業日の場合、翌営業日） （注）第1計算期間は、平成29年9月13日（休業日の場合、翌営業日）までとします。
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
	（注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 「分配金再投資コース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 「分配金支払いコース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせください。 ※平成28年9月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。	

お申込みメモ③

※大和証券でお申込みの場合

	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ―ロボテック―	ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） ―ロボテック（年1回）―
購入単位	1,000円以上1円単位＊または1,000口以上1口単位 ＊購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、1,000円以上1円単位でご購入いただけます。	
購入・換金価額	購入および換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）	
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。	
申込受付中止日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。	
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）	
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。	
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態による市場の閉鎖または流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けた購入の申込みを取消すことがあります。	
スイッチング（乗換え）	同じ決算型のファンド間でスイッチング（乗換え）を行なうことはできますが、異なる決算型のファンド間でのスイッチングはできません。	
信託期間	平成27年12月7日から平成37年9月12日まで ※受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。	平成28年2月8日から平成37年9月12日まで ※受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。

お申込みメモ④

※大和証券でお申込みの場合

	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ―ロボテック―	ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） ―ロボテック（年1回）―
繰上償還	◎主要投資対象とするアクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ◎次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合　・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき	
決算日	毎年3月13日および9月13日（休業日の場合、翌営業日）	毎年9月13日（休業日の場合、翌営業日）
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
	（注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 「分配金再投資コース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 「分配金支払いコース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせください。 ※平成28年9月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。	

当映像のお取扱いにおけるご注意

■ 当映像は大和証券投資信託委託株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。
したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

■ 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。

■ 当映像は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの収録内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。収録内容は映像作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

■ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。